

# 平成29年度 事業計画

## (1)平成29年度 重点取組方針

### 平成29年度の法人全体の重点取組み方針と具体的取組み

#### I. 法人全体の重点取組み方針

「地域包括ケアシステムの構築」と「介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な移行と推進」

鹿児島市では、すでに高齢化率が25.0%を超え、超高齢社会を迎えています。今後、団塊の世代が高齢期を迎え、また単身高齢者世帯や高齢者夫婦のみ世帯、認知症高齢者の増加が予想されるなか、要介護・要支援認定者が増加していく一方で、介護の担い手となる年少・生産年齢人口は減少傾向にあります。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにするため、介護だけではなく、医療や予防、生活支援、住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築が重要な課題となっています。

鹿児島市では、第6期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画において「在宅医療・介護の連携推進」や「介護予防サービスの充実」、「地域包括支援センターを中心とした地域ネットワークの構築」など支援体制の充実を図っていく計画となっています。

当法人では、第6期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画及び平成29年度鹿児島市地域包括支援センター事業実施方針に基づき、前年度に引き続き平成29年度は「地域包括ケアシステムの構築」を重点取組方針とします。

また鹿児島市において地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを提供することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援認定者等に対する効果的な支援等を可能にすることを旨とする「介護予防・日常生活支援総合事業」が平成29年4月1日より開始されます。

そのため「介護予防・日常生活支援総合事業への円滑な移行と推進」を重点取組方針とし、介護予防・生活支援サービス事業者協議会及び地域ケア会議の充実、在宅医療・介護連携推進、認知症施策の推進、生活支援体制整備について推進していきます。

## Ⅱ. 地域包括ケアシステム構築に向けた具体的な取組み

### 1 地域ケア会議

#### (1) 地域ケア会議概要

介護支援専門員、保健、医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生委員その他の関係者及び関係団体により構成される会議です。

#### (2) 地域ケア会議の目的

- ① 個別ケースの支援内容の検討を通じた、
  - ( i ) 地域の介護支援専門員の、法の理念に基づいた高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援
  - ( ii ) 高齢者の実態把握や課題解決のための地域包括支援ネットワークの構築
  - ( iii ) 個別ケースの課題分析等を行うことによる地域課題の把握
- ② その他地域の実情に応じて必要と認められる事項

#### (3) 地域ケア会議の種類

- ① 個別支援型地域ケア会議
- ② 地域包括支援ネットワーク実務者会議
- ③ 在宅医療・介護多職種連携会議
- ④ その他必要な関係機関・団体等との会議

## Ⅲ. 介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な移行と推進に向けた具体的な取組み

### 1 介護予防ケアマネジメント

#### (1) 介護予防業務の実施方針

高齢者が要介護状態等となることの予防や要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的とし、介護予防ケアマネジメントを通じて、利用者の自立を最大限引き出すよう支援します。

特に、介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、状態像に応じた介護予防・生活支援サービス事業等の選択・利用が図られるよう適切な介護予防ケアマネジメントを進めていきます。

#### (2) 業務の種類

- ① 指定介護予防支援事業
- ② 第1号介護予防支援事業

## 2 円滑な移行に向けた取組み

- (1) 介護予防ケアマネジメントを通じた理解の促進
- (2) 地域ケア会議等を通じた地域住民及び関係機関等への周知

## IV. 新規事業

### 1 認知症介護教室

#### (1) 目的

認知症についての正しい知識や接し方等の講義、介護家族等の介護の不安や負担を軽減するための参加者の交流などを内容とした認知症介護教室を実施することにより、本人や家族への支援を行う体制を整備し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進することを目的とします。

#### (2) 教室概要

- ① 講座回数等：市内を北部・南部に分けて、年2回
  - ② 対象者：認知症の人を介護する家族、家庭や地域での認知症の人の介護方法を学びたい人
  - ③ 参加者数：60人(1回30人×2回)
  - ④ 講座日数：1回3日間の日程で(隔週実施)で2回(5月、10月頃)
  - ⑤ 講座内容：認知症を正しく理解し対応するための講義(家族の介護不安や負担の軽減)参加者同士の交流会
- (※認知症の人の同伴を可とし、講座中は認知症等見守りメイト等ボランティアが対応)

## (2) 平成29年度 事業方針

### I. 事業方針

鹿児島市地域包括支援センターは、鹿児島市との「地域包括支援センター業務委託契約」、「鹿児島市地域包括支援センター業務仕様書」及び「業務特記事項」に基づき、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を維持できるよう公平・中立な機関として、それぞれ各地域包括支援センター事業所が、各圏域の地域性を考慮し、高齢者やその家族等の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とします。

### II. 事業内容

#### 1 包括的支援事業

- (1) 共通支援基盤構築に関する業務
- (2) 総合相談支援業務
- (3) 高齢者の権利擁護・虐待防止と早期発見に関する業務
- (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- (5) 介護予防ケアマネジメント業務
- (6) その他

#### 2 予防給付業務

- (1) 介護予防ケアマネジメント業務
- (2) 介護予防ケアマネジメント業務の居宅介護支援事業所への一部委託  
(他市町村にてサービス提供が必要な場合のみ)

#### 3 鹿児島市別途委託事業

- (1) 訪問型個別支援事業
- (2) 認知症地域支援推進員等設置事業
- (3) 認知症初期集中支援推進事業
- (4) 認知症等見守りメイト活動等に関する業務
- (5) 認知症サポーター養成講座業務
- (6) 認知症介護教室
- (7) 生活支援体制整備事業
- (8) 生活支援支え手育成モデル事業
- (9) 心をつなぐ訪問給食利用者調査・再調査事業
- (10) リフォームヘルパー事業

#### 4 その他

### Ⅲ. 事業計画

#### 1 包括的支援事業(地域支援事業)

##### (1) 共通の支援基盤構築に関する業務

- ① 鹿児島市と協働のもと、公正・中立に事業を行います。
- ② 援護を要する高齢者やその家族からの相談とその対応、地域ニーズに基づき各種会議開催や参加などから、地域の実情・課題などを把握し、その解決や支援に向け、行政機関、保健所・保健センター、介護支援専門員、民生委員、弁護士、司法書士、社会福祉協議会等との連携を図り、事業を行います。
- ③ 各職種にかかわらず全員が「地域包括支援センター職員」、「法人職員」として協働し、地域の身近な相談機関を目指し事業を行います。

##### (2) 総合相談支援業務

地域内の虚弱高齢者等の相談を受け、心身の状況、その居宅における生活の実態その他必要な情報の把握に努め、必要に応じ、保健医療福祉等の総合的な情報の提供、関係機関等との連絡・調整等包括的・継続的に支援します。

- ① 地域内の関係機関等と連携し、その高齢者等の情報が円滑に把握でき、包括的・継続的に支援が行われるよう、地域内のネットワークを構築・活用します。
- ② 電話・来所・家庭訪問等による相談の中で、相談者の状況の実態把握を行い、介護保険サービスや福祉サービス、その他社会資源の情報提供・関係機関との連絡調整、緊急時等必要に応じたネットワーク支援を行います。
- ③ 支援を必要とする高齢者やその家族等に対し、適切な支援、継続的な見守り体制の構築、更なる問題の早期発見と防止のために、民生委員をはじめ地域の介護支援専門員等との連携を図ります。
- ④ 地域ネットワークから上がってくる虚弱高齢者等の情報において、介護予防事業等の紹介を適宜行い、必要に応じ介護保険サービスやその他社会資源の紹介や利用までの必要な支援を行います。
- ⑤ 地域住民や関係機関・関連団体等へパンフレットの配布や様々な情報を発信し、その周知に努めます。
- ⑥ 地域に積極的に向き、地域の社会資源やニーズの把握に努めます。

### (3) 高齢者の権利擁護・虐待防止と早期発見に関する業務

地域内のネットワークを構築・活用し、担当生活圏域内の高齢者の権利擁護に努めます。また高齢者虐待の早期発見・予防に努め、通報を受けた場合あるいは発見した場合は鹿児島市と協働し対応します。

- ① 総合相談支援業務上、特に権利擁護の観点から支援が必要と判断したケースについて、専門的な相談窓口への適切な紹介や連携、カンファレンス開催等の支援を必要に応じ行います。
- ② 多問題家族の事例や、各種困難な事例に関しては、その高齢者等を取り巻く関係者等との連携を図り、支援を行います。
- ③ 虐待と想定されるケースについては、鹿児島市への早期通報を支援し、早期対応に繋がるよう、適切な支援を行います。
- ④ 成年後見制度や鹿児島市成年後見制度利用支援事業など、高齢者の権利擁護や虐待防止に関する情報など、鹿児島市と協働し適宜担当生活圏域内の関係者等への啓発を行います。

### (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

担当生活圏域内の居宅介護支援事業所や他に属する介護支援専門員、サービス事業所担当者、医療機関従事者等や地域における各種支援者・支援団体等と協働し、高齢者とその家族等を中心としたネットワークが円滑に機能するよう努めます。

- ① 担当生活圏域内の介護支援専門員等との連携を図り、情報の交換及び共有を行い、更に介護支援専門員同士の連携が深まるよう支援します。
- ② 担当生活圏域内の居宅介護(介護予防)サービス事業所等との連携を図り、情報の交換及び共有を行い、サービス事業所同士の連携が深まるよう支援します。
- ③ 介護支援専門員が構築したネットワークや、各生活圏域内において構築されたネットワークと協働し、高齢者、その家族あるいは関係者が有効に活用できるよう支援します。
- ④ 地域内の介護支援専門員が日常的に抱える困難事例や、民生委員が関わる接近困難事例等に対し、個別相談支援や関係者を集めたカンファレンスを開催し、前面・側面・後方といった、状況に応じた支援を行います。
- ⑤ 介護保険に関する検討会の開催を行い、他団体と協議する場をつくります。

## (5) 介護予防ケアマネジメント業務

各生活圏域の虚弱高齢者が要支援・要介護状態になることを予防するため、鹿児島市と連携し、その高齢者の心身の状況、環境、その他の状況に応じて介護予防・日常生活支援総合事業、その他の適切な事業が包括的かつ効果的に提供されるよう支援します。

- ① 鹿児島市からの要支援認定非該当者情報及び総合相談支援業務により把握した情報をもとに、対象者へ電話及び訪問等によるアセスメントを行います。
- ② 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの利用希望及びその必要性があった場合は、事業の流れに基づき、事業対象者の該当に適切につなげるよう支援します。
- ③ アセスメントに基づき、介護予防・日常生活支援総合事業その他社会資源活用も含めた介護予防ケアプランを作成し、サービス事業所等との調整に当たります。
- ④ 利用者の事業実施状況を適宜モニタリングし、サービス事業所等より実施前後の目標達成度や利用者の心身の状態変化等に関する報告を受けます。
- ⑤ 一定期間後、予防型事業者等の報告も加味し、利用者の状態を再度アセスメントし、評価を行います。また必要に応じ介護予防ケアプランを変更します。

## (6) その他

- ① 鹿児島市では、介護給付は居宅介護支援事業所、予防給付及び介護予防・日常生活支援総合事業は地域包括支援センター、それぞれが対応することとなっているため、利用者がどちらにでも気軽に相談をすることが出来るよう、各日常生活圏域におけるネットワーク体制の構築に努めます。
- ② 地域支援事業を遂行する上で、下記のように地域ケア会議の開催機能を最大限活用します。
  - a 要援護者及び事業対象者に対するネットワーク支援、各種困難ケース等のネットワーク支援
  - b 担当生活圏域における関係者等との情報交換や共有、地域内の課題などに関する意見交換等

## 2 指定介護予防支援業務(予防給付事業)

担当圏域内の要支援認定者に対し、適切な介護予防サービスが提供されるよう介護予防ケアプランの作成及び評価を行い、要支援者が地域においてできる限り自立した生活を営むことが出来るよう支援します。

### (1)介護予防ケアマネジメント業務

担当生活圏域内の要支援認定者を把握し、介護予防ケアプラン作成依頼者への適切なアセスメント、効果的なケアプラン作成、サービス事業所等との連携、またその利用者の給付管理業務を行い、適宜その効果を評価し支援します。

### (2)介護予防ケアマネジメント業務の居宅介護支援事業所への一部委託

※ 鹿児島市の介護保険被保険者である要支援者が他市町村に居住する場合のみ

### 3 鹿児島市別途委託事業

#### (1) 訪問型個別支援事業

要支援認定者及び事業対象者のうち、通所型サービスの利用が困難な閉じこもり、認知症、うつ等の支援が必要な者に対し訪問による個別支援を行います。

- ① 通所型サービスの利用が困難な閉じこもり、認知症、うつ等の恐れのあるものに対して保健師が家庭を訪問し、精神的支援や相談対応、指導などや通所型サービスへの参加の勧奨等を行います。
- ② 個別支援計画を作成し、計画的・効果的に支援、評価を行います。

#### (2) 認知症地域支援推進員等設置事業

認知症施策総合推進事業を発展的に継承し、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関をつなぐための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員及び嘱託医を配置し、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図ります。

- ① 医療や介護等のサービスが受けられるように、関係機関との連携体制構築に努めます。
- ② 市医師会や認知症サポート医及び認知症疾患医療センターの専門医等とのネットワークの形成に努めます。
- ③ 認知症ケアパスの普及に努めます。
- ④ 各地域包括支援センターと連携しながら認知症者及びその家族を支援する相談支援及び支援体制の構築に努めます。
- ⑤ 認知症対応力向上の推進に努めます。
- ⑥ 嘱託医を配置し、認知症地域支援推進員と連携しながら①～⑤までの事業を推進します。

### (3) 認知症初期集中支援推進事業

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の充実に努めます。

- ① 支援チームに関する普及啓発に努めます。
- ② 訪問支援対象者を把握し、本人及び家族の情報収集を行います。
- ③ 初回訪問により、認知症の包括的観察や評価、認知症に関する正しい情報提供等により支援を行います。
- ④ 専門医を含めたチーム員会議を開催し、支援方針及び支援内容を検討します。
- ⑤ 初期集中支援を実施します。
- ⑥ 引継ぎ後のモニタリングにより、医療及び介護サービスの利用状況の確認を行います。

### (4) 認知症等見守りメイト活動業務

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症の人への対応について学んだ「認知症等見守りメイト（ボランティア）」を養成し、認知症と思われる高齢者等の見守りや家族への支援を行います。

- ① 認知症等見守りメイト養成講座の開催及び講座の周知・広報に努めます。
- ② 認知症等見守りメイト活動利用についての周知・広報を図ります。
- ③ 認知症等見守りメイトの活動内容の確認及び活動への支援を行います。
- ④ 各包括支援センターとの連携を図り、活動の推進に努めます。
- ⑤ 認知症等見守りメイト連絡会・研修会を開催します。

#### (5) 認知症サポーター養成講座業務

誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざして、認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援する認知症サポーターを養成します。

- ① 市民向け公開講座及び市民グループ向け講座を開催します。
- ② キャラバン・メイトの自主講座の開催に向けた対応を行います。
- ③ 各地域包括支援センターとの連携を図ります。
- ④ 講座に使用する教材等の管理や発注を行います。
- ⑤ キャラバン・メイトの研修及び連絡会を開催します。
- ⑥ キャラバン・メイト団体代表者会を開催します。
- ⑦ 認知症サポーター養成講座の周知・広報に努めます。

#### (6) 認知症介護教室

認知症についての正しい知識や接し方等の講義、介護家族等の介護の不安や負担を軽減するための参加者の交流などを内容とした認知症介護教室を実施することにより、本人や家族への支援を行う体制を整備し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進します。

- ① 鹿児島市内を北部、南部に分けて年2回認知症介護教室を開催します。
- ② 認知症等見守りメイト等ボランティアと連携します。
- ③ 地域包括支援センターとの連携を図ります。

## (7)生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを配置し、生活支援サービスの充実に関する協議会を設置するとともに、地域包括支援センターと連携しながら生活支援の担い手の養成やサービスの開発を行います。

- ① 市の実施した高齢者等実態調査や地域包括支援センターが把握した情報を活用し、高齢者のニーズを体系立てて整理します。
- ② 地域包括支援センターが把握した情報を集約し、インフォーマルサービスを含めた地域資源のリスト化、マッピング等を行います。
- ③ 必要に応じて、地域資源の連携促進や調整を行い、不足する資源があれば、新しい地域資源の開発を行います。
- ④ 必要となる活動の内容(目的、内容、頻度、場所)を明確化するとともに、必要に応じて担い手の募集等を行います。
- ⑤ 介護予防・生活支援サービス事業者協議会や地域ケア会議等を活用し、担い手のネットワーク化を行い、取組状況の共有化や新たに必要となる取組みの検討、担い手の養成などを行います。
- ⑥ 地域のニーズと地域資源のマッチングを行います。

## (8)生活支援支え手育成モデル事業

高齢者を含む任意の団体が主体的に行う互助活動に対し、換金可能なポイントを付与して地域の互助活動を活性化し、高齢者を地域で支える地域包括ケアの推進を図ります。

- ① 団体等に対して、事業に関する説明を適宜行います。
- ② 団体等が登録を希望する場合、申請書作成を支援し、審査を行います。
- ③ 団体等が円滑に活動できるよう相談に対応します。
- ④ 団体等が作成する事業計画書、事業実績報告書・ポイント付与申請書・転換交付金申請書の作成を支援し、受付ます。
- ⑤ 団体等の事業計画書のとりまとめ、事業実績報告書・ポイント付与申請書・転換交付金申請書の作成を支援し、審査します。
- ⑥ ポイント付与及び転換交付金支払いを行います。
- ⑦ その他登録団体等への連絡文書を送付します。

#### (9)心をつなぐ訪問給食利用者調査・再調査事業

「鹿児島市心をつなぐ訪問給食事業」の利用希望者及び現利用者に対し、必要な調査をすることにより、本事業の対象者の選別や配食回数等の利用調整を行い、公平で円滑な事業の実施を支援します。

- ① この調査を行うことで得られる利用者情報等により実態把握、総合相談支援等、通常業務との連動を図ります。
- ② 独居高齢者や高齢者2人世帯等の利用者が多いこと、また安否確認を目的としたサービスであることから、民生委員等と適切な連携を図り、地域の支援につなげられるよう努めます。
- ③ 要介護者等の利用者については、介護支援専門員等から適切に情報の提供を受け、必要に応じた支援を行います。

#### (10)リフォームヘルパー事業

在宅での生活を希望される要援護高齢者やその家族、或いは障害者等が、住みなれた居宅にいつまでも暮らすことが出来るよう、住宅の改良等の相談を適宜支援します。支援に当たっては、利用者やその家族等の状況を踏まえ、ニーズを把握し、リフォームヘルパーとして保健医療・介護・福祉・建築等の専門職のチームでの支援を行うよう努めます。

- ① 住宅改良を希望される要援護高齢者等に対し、自立支援及び介護予防の観点から適切な情報提供、相談支援等を行います。
- ② 介護支援専門員等が抱える住環境整備に関する困難ケース等について、助言や情報提供など適切な相談支援を行います。
- ③ 悪徳リフォーム業者などにより高齢者の権利が脅かされる場合など、鹿児島市や関係機関等と協働し、その権利擁護のための支援を行います。

#### 4 その他

##### 1 各地域包括支援センターによる各日常生活圏域における取組

- ① 地域支援事業や予防給付業務等により把握した各日常生活圏域内の課題や地域のニーズ等に対し、地域包括支援センターとして可能な範囲そのニーズに沿うことが出来るよう、業務・対応等を検討し、法人との協働の元、実施します。
- ② 各日常生活圏域におけるニーズ等において、圏域を超えるニーズ等を把握した場合など、地域包括支援センター間連携による支援策等を検討します。
- ③ それぞれ事業所独自の取り組み等においても業務の範疇を遵守し、法人内で共有します。

##### 2 各地域包括支援センター事業所長会議

原則として、毎月第4営業日に開催します。

##### 3 各種連絡会等

- ① ブロック別事業所長業務課会議
- ② 保健師連絡会
- ③ 社会福祉士連絡会
- ④ 主任介護支援専門員連絡会
- ⑤ 内部監査委員会
- ⑥ 法人嘱託職員連絡会
- ⑦ その他、必要な事項について別途委員会を招集し開催

# 平成29年度鹿児島市地域包括支援センター事業実施数値目標

| 項 目                            |                             | 平成28年度<br>目標値 | 平成29年度<br>目標値 |
|--------------------------------|-----------------------------|---------------|---------------|
| 1. 総合相談<br>支援業務                | (1)総合相談業務                   |               |               |
|                                | 総合相談件数                      | 52,271        | 53,839        |
| 2. 権利擁護業務                      | (1)権利擁護業務                   |               |               |
|                                | 成年後見制度、消費者被害対応              | 1,247         | 1,284         |
|                                | (2)高齢者虐待への対応                |               |               |
|                                | 高齢者虐待対応                     | 1,190         | 1,226         |
|                                | 高齢者虐待防止ネットワーク協議会への<br>参加・支援 | 3             | 3             |
| 3. 包括的・継続的<br>ケアマネジメント<br>支援業務 | (1)包括的・継続的なケア体制の構築業務        |               |               |
|                                | 地域ケア会議開催                    | 119           | 136           |
|                                | 専門職者支援                      | 510           | 525           |
| 4. 第1号介護予防支援<br>事業             | (1)介護予防ケアマネジメント費            |               |               |
|                                | 新規                          |               | 1,951         |
|                                | 継続                          |               | 24,260        |
|                                | 合計                          |               | 26,211        |
| ○ 指定介護予防支援<br>事業               | (1)介護予防支援費                  |               |               |
|                                | 新規                          | 2,416         | 1,281         |
|                                | 継続                          | 67,850        | 52,552        |
|                                | 合計                          | 70,266        | 53,833        |

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター中央                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事業所長氏名      | 宝蔵 昭次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 35,601      高齢人口： 7,725      高齢化率： 21.7%</p> <p>鹿児島市の中心部に位置し、繁華街や商業施設が並び医療機関や飲食店も充実している。マンションや有料老人ホーム等が多数建つことから郊外から転入される方も多い。総人口及び高齢者人口も微増傾向である。</p> <p>圏域の特徴として高齢者の中でも低所得者層及び生活保護世帯等と比較的裕福な世帯とに二極化しており、オートロックがあるマンション等に住んでいる方の安否確認が難しい一方、老朽化した住居でエレベーターや浴室が設置されておらず住環境の課題もある。</p> <p>一人暮らし高齢者や認知症高齢者が増える中、家族と疎遠になっている高齢者や身寄りがいない方などの権利擁護を含め、多問題化した相談が多い。</p>                                                                                               |
| 平成28年度総合的評価 | <p>今年度は地域包括ケアを推進するために早期発見、早期対応、見守り体制を目指した地域のネットワークを構築し、質の高い総合相談対応、予防ケアマネジメントを行えることを事業方針としていた。</p> <p>①生活支援モデル事業の推進やインフォーマルサービスの把握を行い、地域のサービス事業所一覧やマップを作成し情報提供機能を強化することができた。</p> <p>②ネットワーク構築の重点項目として実務者会議を定期開催し、個別ケースの検討や地域課題の解決方法を検討することができた。併せて、城南校区社協の会議に参加して関係性を深めることができた。また、中央圏域の多職種連携会議開催し、地域の専門職との顔の見える関係が構築できた。</p> <p>③各職員、積極的に法人内外の研修参加して、スキルアップを図ることができた。事業所内の勉強会は十分に時間を作ることはできなかったが、朝礼にて必要事項を共有した。</p>                                                   |
| 平成29年度総合的方針 | <p>＜いきがいと仲間づくりの地域を構築するために、地域にある社会資源の把握や育成を行い生活支援サービスの充実と見守り体制を整えながら、質の高い総合相談対応、予防ケアマネジメントを行える事業所を目指す＞</p> <p>①新たな社会資源の把握や育成を行い、情報提供機能（介護予防の取り組みや生活支援サービス、住み替え、インフォーマルサービスのマップや一覧表の作成）を強化する。</p> <p>②ネットワーク構築の重点項目として実務者会議を定め、個別ケースの検討や地域課題の抽出、解決方法を検討していく。併せて、地域団体から社会資源の情報収集を行い、見守り体制に対して協働できる関係を築く。また、医療と介護の連携が充実するよう多職種連携会議の開催を継続する。</p> <p>③介護予防支援、介護予防・日常生活支援総合事業では質の向上が期待できる研修には積極的に参加し、自立支援に向けた支援を展開する。また、認知症高齢者に対する相談対応や成年後見人制度の知識を深めるなど事業所内で勉強会を継続して行う。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター上町                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事業所長氏名      | 吉満 まゆみ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 29,870      高齢人口： 8,299      高齢化率： 27.8%</p> <p>生活支援・福祉サービスについては多職種と社会資源の共有化を図る中で、市街地は便利であるが、保護世帯も多く自助が弱く、互助が個のつながりのみで住民組織の地域力は弱く、地域での生活支援が少ないことがわかった。食事の配達なども、地域差や年齢的な好みにより利用できない場合があり、移動販売車などの活用も限られていた。公的な機関が多く、相談箇所や利用できる場所はあるが、情報の把握ができず、活用できていない。</p> <p>医療・介護・予防については旧市内で65歳以上の高齢化率が2番目に、75歳以上の割合も3番目に高い。圏域に総合病院を初め医療機関が非常に多く、検査や通院、リハビリに通い易い環境にある。また、介護保険のサービス事業所が多く、利用者による自由な選択が可能である。</p> <p>すまいについては圏域内は市街地、団地、山間部・沿岸部に分かれ、市街地は市役所周辺で交通の便がよく商店街もあり、生活し易い地域である。昔ながらの住居やアパートの他、近年中高層集合住宅が増加傾向にある。高台地域は公共の交通機関を利用できる地域が多いが、坂道が多いためか戸建の空家が増加傾向である。沿岸部は土砂災害危険区域で、避難が必要な独居高齢者が多く、買物や移動手段が限られている。</p>                                                                                   |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域包括ケア推進について、民協地区毎の多職種で、地域ニーズの把握や情報共有を始めてから3年目になり、「食事」「集まりの場」「運動の集まりの場」「生活支援」「圏域外」と分類し社会資源としてまとめることが出来た。今後は、民生委員や会議参加事業所等及び実務者会議の代表を通して、地域の高齢者に情報提供したり、移動販売車の運転手などにも協力依頼し、『(地域の高齢者が)地域で笑って暮らし、住み続ける』ことの出来る支援に繋げていきたい。個別支援型地域ケア会議の開催により居宅を初めとする関係機関との連携を深め、問題解決に取り組んでいる。</p> <p>②生活支援サービスの充実・強化について、互助活動に取り組んでいる、取り組みたい地域の団体に対して、生活支援コーディネーターとの協働により、生活支援支え手育成モデル事業の登録を3ヶ所おこなった。</p> <p>③医療と介護の連携推進について、上町圏域内、北部圏域で開催でき、県の退院支援ルールとの相互的な活用で、地域住民の円滑な在宅生活への継続に繋げている。</p> <p>④認知症施策への推進として、見守りメイト事業や思いノートの活用は地域住民や各団体へ広報周知できたが、認知症相談に対して、認知症初期集中支援チームとの協働により認知症初期段階での支援を包括的、集中的に支援する取組みができなかった。</p> <p>⑤介護予防支援事業所として、定期的な研修会開催は行えなかったが、嘱託職員の研修参加の機会を増やし、事業所内での復命やOJTを実施していくことで、事業所内でのスキルアップを図れた。</p> |
| 平成29年度総合的方針 | <p>①地域包括ケア推進について、介護予防・日常生活支援総合事業が開始される中で、『地域で笑って暮らし、住み続ける』ために、継続して多職種での地域ケア会議や実務者会議を開催する。地域での支援体制構築のための高齢者の「居場所」、「生き場所」、「生き場所」を1人ひとりの高齢者へ、地域の関係機関と連携して効果的に働きかけていく。地域での支え合い活動についての意識づけとして、周辺地域で先行して取り組んでいる地域の取り組みを参考にして、「わが町的生活支援」について考えて頂く。また、個別支援型の地域ケア会議を開催し易い、居宅支援事業所との関係づくりに努め、地域課題の抽出にも繋げる。</p> <p>②生活支援サービスの充実・強化について、圏域内の地域ニーズの把握や情報共有について生活支援コーディネーターと協働していく。</p> <p>③医療と介護の連携推進について、上町圏域での多職種における支援の在り方について会議や講演会等を通し、一層連携を深め、地域の方々の在宅での生活継続を推進させていく。</p> <p>④認知症施策への推進について、認知症初期集中支援チーム、見守りメイト事業、認知症サポーター養成講座などの施策を地域住民や各団体へ広報周知し、業務を通じた実態把握から施策活用に努める。</p> <p>⑤三職種それぞれが技術向上に努め、専門職としてのチームアプローチを発揮し、相談業務、権利擁護に対処していく。</p> <p>⑥研修等の参加や社会資源の共有などにより事業所全職員のスキルアップを図り、利用者の自立支援を心掛ける。</p>       |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター鴨池北                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 事業所長氏名      | 高野 大輔                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 47,673      高齢人口： 10,892      高齢化率： 22.8%</p> <p>鴨池北圏域は市内の中心部に位置しており、バスや電車等の交通の便が良い。またスーパーなども点在しており便利の良い地域である一方、若年者の増加と転入出者が多く、中心部は高層マンションが増えているために、以前よりの居住者と新たな居住者が混在した地域になっている。社会資源として、医療機関・有料老人ホームも含めた施設や介護サービス事業所など多数あり、現在も新たな事業所が増えている状況がある。課題として、単身高齢者の増加と高層マンションなど集合住宅が多く、住民同士の見守りや声かけなど互助の関係が作られ難い環境になっている。八幡校区では祭り等を通じて住民や介護サービス事業所などが交わる場を作るなど積極的に活動している地域もある。鴨池新町はマンションにエレベーターがない等の住環境の問題や公民館や福祉館がなく、各マンションごとの活動となっている。</p>                                                                                                                                                                |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①個別支援型地域ケア会議を通じ、居宅介護支援事業所が抱える課題を抽出し、更に居宅介護支援事業所を対象にネットワーク構築型地域ケア会議を開催した。ケアマネジャーより成年後見制度の活用について理解が出来たとの意見があった。圏域の主任介護支援専門員対象の地域ケア会議を開催したことが、主任介護支援専門員同士のネットワーク構築につながった。</p> <p>②中郡地区の介護サービス事業所と民生委員対象に地域ケア会議を開催した。地域包括ケアシステムの構築に向けて必要な生活支援に関わる社会資源について検討し、地域の介護サービス事業所においても社会資源の開発を意識する機会になった。</p> <p>③地域包括支援ネットワーク実務者会議において、生活支援支え手育成モデル事業の推進と地域課題について検討し、1カ所の通いの場の登録につながった。</p> <p>④中部地区の事業所合同と鴨池北圏域内での多職種連携会議を実施し、セラピストと居宅介護支援事業所の顔の見える関係が作れた。</p> <p>④総合相談により認知症相談や虐待相談などに意識を持ち対応する事で認知症見守りメモの利用や認知症初期集中支援チームの活用につながっている。</p> <p>⑤認知症ケアパスの普及については、お達者クラブ等以外の地域の集まりの場へも参加し普及が出来るようになった。</p>               |
| 平成29年度総合的方針 | <p>①平成28年度で抽出された地域課題として、見守りや地域住民の顔のつながる関係作りとして集まりの場作り、男性高齢者の活躍の場が必要などがあり、地域包括支援ネットワーク実務者会議や中郡地区地域ケア会議を通じて、地域住民への啓蒙と社会資源の開発に向けての取り組みについての意見交換を行っていく。また、中郡地区だけでなく、その他の地域にも派生させることで圏域内の課題について細かく抽出していけるようにする。</p> <p>②主任介護支援専門員連絡会や個別地域会議を通じて地域内の居宅介護支援事業所の抱えている課題や地域課題について抽出すると共に課題解決していく。圏域内の医療サービスと介護サービスの顔の見える関係性の構築を図り、医療と介護の連携が推進できるようにしていく。</p> <p>③圏域内のお達者クラブや老人クラブ、集まりの場への参加回数を増やし、地域包括支援センターの周知と認知症施策を推進していく。</p> <p>④日常生活総合支援事業に向けた取り組みとして自立支援に視点を向けたケアマネジメントが出来るように事業所内での研修会を行うことで、高齢者が不安なく日常生活総合支援事業に移行できるようにしていく。</p> <p>また、権利擁護や高齢者虐待への対応について、専門性を発揮できるように事業所外研修や事業所内研修を通じて事業所内の資質向上を図れるようにする。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター鴨池南                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事業所長氏名      | 小倉 ゆりか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 53,383      高齢人口： 11,261      高齢化率： 21.1%</p> <p>有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅、介護保険事業所が圏域内に増え、相談等が増えている。医療機関も多いため、連携を図る機会も多くなってきている。</p> <p>地域では、町内会に入っていない方が増えていたり、区画整理により住居がかわったりするため高齢者の把握が難しくなっているということが地域ケア会議を通して分ってきた。独居や夫婦世帯、日中独居の高齢者も多いため、集いの場や生活支援が必要となっているが、担ってくださる方の育成や発掘が課題である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①圏域内の5つの民生委員児童委員協議会を対象に地域ケア会議を開催し、地域が抱えている課題や生活支援に関する意見交換を行った。それぞれの地域で抱えている問題は違うことが分り、地域包括ケアシステムの構築は、圏域内を更に細分化し対応していく必要があるのではないかと感じた。居宅介護支援事業所とは、昨年度に引き続き事例検討会や多職種連携会議で事例を一緒に検討し、相談しやすい関係作りができた。</p> <p>②実務者会議では、昨年度話し合った地域課題である「男性も集まれる集いの場・運営する人の確保」をテーマに具体的に「場所」「内容」「支える人（運営する人）」「支えられる人」について意見交換を行い、「集まる場所の設計図」を作成した。生活支援支え手育成モデル事業参加者にも意見を頂き、今後、地域の中で集まりの場を作りたいという声が上がった際には、参考にして頂けるような意見集約ができた。</p> <p>③認知症に関する相談も多く、認知症初期集中支援チームのサブチーム員を中心に、職員全員で取り組み対応した。認知症等見守り活動利用登録の方も少しずつ増えているため、認知症に関する相談は、今後も増えていくと思われる。</p> <p>④予防給付事業については、事業所内での勉強会を継続した。事例検討だけでなく、傾聴訓練や高齢者虐待・身体拘束についての勉強会、社会資源の把握等を行うことで、よりよい支援ができるよう努めた。</p> |
| 平成29年度総合的方針 | <p>①民生委員児童委員協議会との地域ケア会議では、28年度の実務者会議で話し合った「集まる場所の設計図」や生活支援支え手育成モデル事業参加者の意見等を踏まえ、更に地域に密着した地域包括ケアシステムの構築ができるよう努める。</p> <p>また、居宅介護支援事業所との事例検討会や地域ケア会議を継続し、多職種連携会議との連動や民生委員児童委員との連携、災害時対応等も念頭におきながら開催していく。</p> <p>②今後、地域で生活される方々のニーズも多種多様になってくと思われるため、生活支援コーディネーターを中心に、今ある社会資源の把握や、必要な社会資源の把握などに取り組む。また、同時に支え手になれる人材についても把握する方法を検討していく。</p> <p>③相談対応については、地域の社会資源等を活用し、今まで以上に関係機関との連携を図れるよう努めていく。また、認知症や高齢者虐待に関する相談に職員全員が関わられるよう事業所内の連携や職員のスキルアップを行い、対応方法を検討し早期発見・早期対応に努めていく。</p> <p>④総合事業の開始により、今まで以上にケアマネジメント力が必要になってくと思われる。事業所内での事例検討や勉強会を継続し、自立支援に資するケアマネジメントができるよう資質向上に努める。</p>                                                   |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名            | 鹿児島市地域包括支援センター城西                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 事業所長氏名          | 中村 博之                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 圏域の特色・課題        | <p>※ 人口： 46,824      高齢人口： 12,740      高齢化率： 27.2%</p> <p>西田・明和・草牟田・原良の4地域から構成され、市街地から丘陵部団地へと続く圏域である。高齢化率は5町を除けば市内の中でも高い。中心部は区画整理等で新築住居の建設が進み、医療機関や学校、介護施設や商業施設などを含む各種サービスがさらに増えてきている状況にあるが、主要道路から離れた地区や団地部には古くからの住民も多く、一人暮らしや要援護状態の高齢者の中には交通の便や日常の買い物に不便を感じている方も多く居るという実態が27年度の実務者会議にて再確認できた。上記の課題は街づくりの観点からも見ていく必要はあるが、一方で地域や住民同士の見守りや地域ぐるみでの組織作りについては明和や城山、原良の一部の高齢化率が高いところでも積極的に取り組まれていることが分かり、同じ地区でも各町内会単位で課題は異なることも明らかになった。</p>                                                                                                                                                                                                                 |
| 平成28年度<br>総合的評価 | <p>①地域包括支援ネットワーク実務者会議<br/>「生活支援の開発」をテーマに「生活支援支えて育成モデル事業」も踏まえて地域の集いの場や見守りと生活支援について協議した。把握出来ている集まりや見守り体制等をマッピングし情報共有を図ると共に各地区の地域性や実情を協議していく中で、地域の課題もより把握する事が出来た。また介護予防や地域づくりを担う保健センターと社会福祉協議会との連携強化も行なえた。モデル事業の支え手の方々と連携する事で生活支援の開発へのヒントも多く得られた。</p> <p>②多職種連携<br/>圏域内のサービス事業所や医療機関とより連携が図れる様にネットワーク型地域ケア会議や多職種連携会議を行い高い評価を得られた。</p> <p>③元気づくり高齢者事業<br/>事業対象者に対し配布物等の活用と勧奨行い事業終了後も継続して健康づくりが取り組める様に、生活支援支え手育成モデル事業の団体立ち上げへ繋げる事が出来た事が大きな成果だった。</p> <p>④職員の資質向上<br/>総合事業移行へ見据えて適切な説明・対応が行えるよう所内で都度ミーティングと勉強会を開催しスキルアップを図った。</p> <p>⑤地域との連携<br/>民生委員児童委員協議会、校区社会福祉協議会やコミュニティ協議会等地域の会への出席や地域の催しの出席や出前講座に出向く事で様々な方と顔の見える関係を築く事が出来、当センターの取り組みについて理解が得られた。</p> |
| 平成29年度<br>総合的方針 | <p>①地域包括支援ネットワーク実務者会議<br/>平成28年度の得られた課題を踏まえ、各地区内でも社会資源や介護予防や見守りの差を把握した。その為、各地区の中でも町内会等小さな単位での社会資源や地域の集いの場、見守り体制の把握や地区別で今まで蓄積した情報を元に地区診断を行っていき、地域包括ケアシステムの構築に向けて生活支援、介護予防の推進をしていく。</p> <p>②多職種連携<br/>圏域内のサービス事業所や医療機関等との居宅管理者会議や城西交流会、多職種連携会議を継続すると共に、地域の課題に応じて障害福祉や法律専門家等他機関とのネットワークを構築する事で医療介護連携や当センター初め地域の事業所全体の資質向上を図る事で地域還元していく。</p> <p>③職員の資質向上<br/>介護保険、障害福祉、権利擁護、自立支援等、業務にタイムリーな内容を、事例を踏まえて事例検討等を行う事で対応力を向上させていきたい。また、各専門職の専門性を活かして地域に貢献出来る様に都度ミーティングや勉強会を行なっていく。</p> <p>④地域との連携<br/>地域住民へ地域包括ケアシステムの必要性の意識付けが課題でもあり、今後も民生委員児童委員協議会、校区社会福祉協議会やコミュニティ協議会との連携を継続し地域の方々と顔の見える関係を築いていく。</p>                                                        |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター武・田上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事業所長氏名      | 山元 泰弘                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 61,509      高齢人口： 16,253      高齢化率： 26.4%</p> <p>東西に細長い圏域であり、東は発展の進行する中央駅周辺の武、西は西ノ谷ダムのある西別府という鹿児島市の縮図のような圏域である。また市中央部のベッドタウンでもあり、高齢化率も年々上昇している。介護施設は特養3か所、老健1か所がある。H29年4月には特養が1ヶ所増える。居宅介護支援事業所は14ヶ所あり、利用者及び家族はケアマネやサービスに不足を感じることは無い。反面、総合病院は3カ所のみ、障害者関連施設は1ヶ所、精神関連の入院施設はない。そのため、医療面や障害サービスは圏域外の社会資源との連携が多く求められる地域である。民児協は5区、公立中学校校区は4校区ある。圏域の課題としては、対象者が多いこともあり、経済的生活困窮者や高齢者虐待、認知症と多岐にわたる。山間部の西別府は買い物に困っている高齢者が多い。圏域内の地域性の差が大きい地域と言える。</p>                                      |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域ケア会議の開催に関しては3月開催予定も含め、実施時期の変更はあったが予定通りの回数開催することができた。実務者会議では生活支援支えて育成モデル事業について周知、目標であった3団体立ち上げることができた。多職種連携会議においては事例を用いたグループワークで圏域の在宅医療従事者を含め連携を深めることができた。</p> <p>②予防給付の管理数は年度初めには500件程度であったが、最近では530件を上回ることもあり、毎年約30件ずつ増加している。</p> <p>③元気づくりケアプラン作成数は7.1%と減少。毎月の把握数が昨年度にくらべ約100件増加。参加勧奨はなんとかできているが、事業所の空きが少なく、参加意向があってもプラン作成できない状況があった。</p> <p>④総合相談については年度末を待たず昨年の実績を超えている状況。圏域のケアマネジャーからの相談も増加している。</p>                                                                          |
| 平成29年度総合的方針 | <p>事業所内の体制を固めた上で事業所外にも「地域包括ケアシステム」構築の輪を広げていく。</p> <p>①平成29年度から開始される「介護予防・日常生活支援総合事業」の円滑な実施に事業所を挙げて取り組む。</p> <p>②個別ケースを通じ、地域の力を高める。少しずつ増加してきた居宅介護支援事業所からの相談をさらに増やすため各ケアマネジャーとの連絡を密にする。</p> <p>③実務者会議にて抽出した地域課題に対し必要な方策を地域の方々と共に検討を継続。今年度立ち上がった支え手団体などと連携し、買い物支援や集いの場への参加者増、男性の地域活動への参加者増などへの具体的取組みも継続する。</p> <p>④引き続き多職種連携会議を開催。医療職以外にも積極的に声かけし、事例研究等を通じて職種間の協調関係作りを継続する。</p> <p>⑤経済的生活困窮者や高齢者虐待、認知症に対する相談の増加に対応できるよう、職員個人でも地域包括支援センター職員としての更なる専門性・援助技術の向上を目指し、相談者に満足いただけるような事業所を目指す。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター谷山北                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事業所長氏名      | 内山 めぐみ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 59,451      高齢人口： 11,658      高齢化率： 19.6%</p> <p>市の南部に位置し、五ヶ別府町の山間部や中山町・山田町の田園地帯と桜ヶ丘・皇徳寺台・星ヶ峯・中山の住宅団地がある。一部地域では、新しい住宅が次々と立ち並び人口増加が著明である。そのこともあり、17圏域の中で最も高齢化率は低い。しかし、高齢化率は昨年より約1%高くなり高齢化は進んでいる。</p> <p>交通機関はバスのみで、便数や路線も限られており主幹線道路沿いから外れると交通の便は良いとは言えない。坂道が多い地域では特に、病気や加齢に伴い身体に不自由が生じると外出が難しくなり、買い物や病院受診、交流の場への参加に支障をきたし易い。</p> <p>地域により多少の差はあるが、交通の不便さや他者との交流の困難さは共通である。大きな団地を抱える地域であるので、高齢化が進むと認知症の問題も避けられない。世代を超えて、介護予防や支え合いの取り組みを普及していく必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域ケア会議<br/>地域包括支援ネットワーク実務者会議では、地域で課題になっている事を地図上に落とし込み目に見える形にし情報を共有を行った。集いの場づくりや交通の確保や買い物支援において様々な意見を出し合うことができたが、具体策に欠けていた。地域の情報を的確に把握・分析し今後も地域づくりに取り組んでいく必要がある。</p> <p>在宅医療・介護多職種連携会議では、南部ブロックで同じテーマで昼と夜の2回行い出来るだけ多くの方に参加して討議が出来る様にした。また、圏域内でも実施したが、全く参加出来ない職種もあり今後の課題である。実際の支援の場で連携出来る様に会議の内容を検討していく。</p> <p>圏域内の介護支援専門員とは定期的に事例検討会は行ったが、内容については、知識や技術を高められるようにしていかなければならない。</p> <p>②事業運営<br/>認知症初期集中支援事業は、認知症の相談があるにも関わらず意識の低さから成果を上げることが出来なかった。目的をしっかりと認識し業務に取り組んでいく必要がある。</p> <p>介護予防ケアプラン作成数は、前年度より増えたが、下半期に事業参加につなぐことが出来ず目標に達していない。介護予防について、様々な場面で取り組む必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 平成29年度総合的方針 | <p>平成29年度から開始される介護予防・日常生活支援総合事業にスムーズに移行することを最優先にし、昨年度に続き地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを重点的に行う。</p> <p>①地域づくり<br/>個々の支援やその人の問題解決に留まるのではなく、地域課題の把握の意識をもち解決へ取り組んでいく為には、様々な機関との情報交換や積極的に地域にでていき、課題の早期発見・信頼関係作り・地域住民や専門職種とのネットワークが機能できるようにする。南部ブロックの生活支援コーディネーターと情報共有し、地域課題の把握や問題解決に向けた取り組みを行う。</p> <p>困難事例には、個別支援型ケア会議を積極的に開催し、解決にむけ前進するようにしていく。個別支援型地域会議をより多く開催する事で地域の課題を見つけ出していく。介護支援専門員や他機関の協力も得ながら、さらなる社会資源の把握を行い、周知・共有出来る様に社会資源情報マップを整理していく。</p> <p>②認知症対策<br/>高齢者だけではなく、若い世代にも認知症について関心をもてるように他機関とも協力しながら情報発信して、早い段階で認知症の相談がしやすい環境を整備していく。認知症初期集中支援事業の役割を理解し、相談場面でチームにつなげぐ意義を意識することで必要なケースをチームに適切につなげられる様にする。認知症ケアバスや認知症等見守りメイト活動についての情報を地域住民に広く周知するためにさまざまな機会をとらえて広報を行う。</p> <p>③多職種連携の推進<br/>医療・介護多職種連携会議の継続を図り、現場で連携が生かされるようにする。会議の内容が偏らず、多くの職種が参加できるよう工夫する。</p> <p>④事業所内の機能向上<br/>総合相談のワンストップの窓口としての機能を十分発揮できるように事業所内の定期的な勉強会の開催や外部の研修に積極的に参加し、専門知識や援助技術の向上に努める。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター谷山中央                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業所長氏名      | 内匠 緑                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 58,813      高齢人口： 11,835      高齢化率： 20.1%</p> <p>鹿児島市南部に位置し、2つの中学校地区（東谷山中・谷山中）からなる。永田川より北部の東谷山中地区は、国道や産業道路沿いに、病院や商業施設も多く点在し、交通の便はよい。しかし、高台の地区は、高齢化率35%を越える地区もあり、交通の便が悪く、買い物や病院受診など不便を感じている高齢者は多い。一方、永田川より南部の谷山中地区は、比較的平坦で商業施設や公的機関も多く、便利がよい。谷山駅周辺や西谷山地区では、区画整理が進んでおり、住居移動やつきあいの変化による不安を抱える高齢者が多い。反面、新たな商業施設の参入やマンションの建築により若者の移住も多く、活気が出ている地区でもある。谷山中央地区全体では、福祉関係の事業所も多く、サービスは充実している。近年、有料老人ホームや特養などの建設が多く、介護保険サービス利用者は年々増加傾向である。地域では、地域での見守り活動や住民独自の活動の立ち上げなど活発な面もあるが、近隣同士の希薄化や担い手不足など課題も多い。</p>                                                                                                                                                                                   |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域ケア会議：実務者会議や地域ケア会議にて、生活支援の必要性や生活支援支え手育成モデル事業の広報を行い、10グループの登録があった。実務者会議では、モデル事業代表者も参加し、地域課題である「身近な場所での集い」の検討を主に行った。その他、介護支援専門員同士の地域ケア会議も行い、情報共有、ネットワーク構築、質の向上に努めた。多職種連携会議は、南部で1回、圏域で1回行い、事例による連携の在り方を共有できた。個別支援型も随時開催し、困難ケースへの対応をチームとして共通認識のもと、進めることができた。</p> <p>②認知症対策：認知症初期集中支援チームとして、今年度目標には届かないが新規22件を所内外の担当者と協力し、専門医や各機関との協議を行うことで、早期診断や早期対応を図れ、必要な支援体制へつなぐことができた。地域での認知症の相談も増加しており、お達者クラブにて昨年同様、認知症についての理解を深める広報活動を行った。また地域での見守りが必要な方には見守りメイト等を提案し、支援体制を構築することができた。</p> <p>③介護予防支援：元気作りは、今年度で終了だが、目標を超える参加者があり、介護予防の推進ができた。予防プランは施設の増加もあり、件数は増加傾向。複雑なケースは、職員間での共有や相談にて、対応を図ることができた。</p> <p>④資質向上：毎月の所内勉強会や所外の研修会により、資質向上に努めた。困難ケースも増えており、週1回のケース共有会議を開始し、職員全員で把握し、対応できるようにした。</p> |
| 平成29年度総合的方針 | <p>平成29年度も「地域包括ケアシステムの構築」に向けた取り組みを重点的に行う。</p> <p>①実務者会議を活用して、「身近な場所での集い」「買い物支援」「住民の認知症理解」などの昨年までに抽出された課題に対し、地域の代表者の意見を交えつつ具体的な取り組みを検討していく。また、地域を支える介護事業所との連携を強化し、居宅介護支援事業所や地域密着型事業所などを中心に、地域に対してすべき役割を共有し、地域住民、事業所が一体となって地域を支える体制を構築していく。</p> <p>②認知症初期集中チームの活動は、早期診断・早期対応が図れるよう所内外の担当者や専門医と協同し、対応を図っていく。地域住民に対して、認知症サポーター養成講座や見守りメイト等の施策を広報し、十分に活用されるよう、認知症の理解を深める活動を行う。</p> <p>③地域から信頼される事業所を目指し、丁寧・迅速な相談対応や専門性を持った対応ができるように努めていく。総合事業へ移行する制度内容や権利擁護、虐待、障害者制度などの専門的知識を、毎月の所内勉強会や所外の研修等への参加により習得し、職員の資質向上に努めていく。また、地域の社会資源が変化しているため、常に情報収集を行い、定期的に見直しを行い、活用できる情報として整理していく。</p>                                                                                                             |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター伊敷台                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業所長氏名      | 福留 昌浩                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 37,135      高齢人口： 9,882      高齢化率： 26.6%</p> <p>圏域内に3つの民生委員児童委員協議会があり、それぞれの地区に老朽化した公営住宅があることから、高齢の独居者等が増えてきている。地域内は坂が多く、コンビニを除いた一般スーパーまでの買い物が不便な所が多い。塵出しや外出についても不便を感じる方が多い。地域高齢者同士や各種世代間の交流機会も地域によって差がある。一方で、近年地域独自の見守り活動や高齢者集会の場が立ち上がったたり、近隣者が塵出し支援を行う仕組みが出来上がっている地域がある。介護関係の事業所は居宅介護支援事業所が14事業所、その他特養やグループホーム、通所系や訪問系事業所が点在、医療系は入院可能な病院や各種専門科や在宅診療可能な病院も点在していることから、地域ケアシステム構築する上での医療と介護の充実化は図られている。圏域内全体の共通課題として、「閉じこもり」「孤立」「交流不足」が挙げられている。</p> |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域包括ケアシステム構築に向けて、お達者クラブ等での地域向け福祉講演会や実務者会議等でシステム構築の必要性、及び「我が事」としての意識付けを図ってきた所であり、少しずつ地域高齢者自身が自助互助について考えて頂く事が出来た。自発的に集まる場が発生した地域もある。</p> <p>②一方で多世代に向けての地域包括ケアシステム構築の必要性については、啓蒙機会を得る事が出来ていない所であり、地域内の孤独防止等の旗振り役の確保が出来ない地域が多い。</p> <p>③生活支援強化型センターとして生活支援コーディネーターが配置され、当事業所圏域のみでなく、北部ブロックの生活支援支え手育成モデル事業推進、介護予防・生活支援サービス事業の準備推進を行う事が出来た。</p> <p>④圏域内居宅介護支援事業所の介護支援専門員との協議の場を設け、横連携しやすい雰囲気を作る事が出来た。</p> <p>⑤事業所内での研鑽機会としての勉強会を、概ね定期的に開催する事が出来た。</p>       |
| 平成29年度総合的方針 | <p>①地域包括ケアシステム構築に向けて実務者会議委員との協議を継続し、圏域内共通課題である「閉じこもり」「孤立」「交流不足」等の解決策について検討する。地域高齢者の集会の場に出向き、地域包括ケアシステム構築の必要性についての啓蒙を継続していく。また、高齢者のみでなく、多世代に向けた地域包括ケアシステム構築に向けての共有化について検討対応する。</p> <p>②地域課題、及び地域資源の再確認再発掘を図るための地区診断等を実施する。</p> <p>③各専門職の特性を活かした会議の企画開催等にて、所内や地域の専門職、及び地域住民に向けた啓蒙を図ると共に、専門職のスキルアップを図る。</p> <p>④事例検討会を定期的に開催し、圏域内の介護支援専門員の連携や後方支援、主任介護支援専門員の指導力向上を図る。</p> <p>⑤個別支援型地域ケア会議を適時開催し、圏域内の介護支援専門員や多職種間の連携と相互スキルアップを図る。</p>                          |

※人口等は平成28年10月1日現在

平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター吉野                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事業所長氏名      | 平田 大介                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 48,696      高齢人口： 13,730      高齢化率： 28.2%</p> <p>鹿児島市の北部に位置し、吉野地区、吉野東地区、川上地区から構成される。吉野は古くからの施設(高齢者・障害者)が多く、住宅型有料老人ホームの開設も増加傾向にあるため、他圏域(市内・市外)からの転入者が多く、県道沿いを中心に商業施設の充実した地域がある一方で、山間部では過疎化が進み交通網や商業施設の少ない地域も内包している。圏域内の古くからの施設がそれぞれに地域向けの活動を展開しているが横のつながりが弱く、圏域全体での広がりが無い。地域住民は、地元との地縁関係は比較的保たれている。課題は、様々な取り組みを実施している関係機関や地域住民とのつながりを深め、「場の統一」を図ることが地域包括ケアシステムの構築に資すると考える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①認知症初期集中支援事業について<br/>9件の目標に対して、実績2件のみ。事業所内でも頻繁に話し合い、掘り起こしを図ったが実績にはつながらなかった。また毎月の所長会議でも話し合い、ブロックの多職種連携会議でも参加者への事業説明等を実施した。実績につながるよう更なる検討や具体策が必要である。</p> <p>②地域ケア会議の開催について<br/>北部ブロック多職種連携会議を1回、吉野事業所主催の多職種連携会議を2回合計3回開催した。実務者会議では、圏域内の各サービス提供事業所の自主的な取り組み(地域住民対象のイベント・教室:営利目的ではない活動)を調査し、地域住民への周知を図った。これにより各事業所の取り組みを評価し、地域住民参加の促進につながったと評価する。その他の地域ケア会議ではケアマネジャーや地域住民を対象に3回開催した。</p> <p>③その他について<br/>吉野には障害者施設が多く存在する。65歳を迎えるにあたっての介護認定申請により当センターへの引き継ぎケースが増えてきている。今年度は障害者施設の支援員との意見交換を実施できた。また、元気づくり高齢者事業においては目標を越える実績と併せて、個別訪問型も1件の実績となった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 平成29年度総合的方針 | <p>平成29年度、吉野事業所における事業方針としては以下のとおり。</p> <p>①個別支援型地域ケア会議の充実(吉野圏域における多職種連携のあり方として)<br/>個別支援型地域ケア会議を通じて、事例に対する解決や助言のみならず、事例から見える吉野圏域の特性や課題抽出を目的として開催する。参加者については、現行では事例に関わりのあるケアマネジャーやサービス提供事業所、地域住民を対象としているほか、理学療法士に参加を依頼しているが、多職種連携の視点から、次年度においては医師を含めた医療職の参加についても拡充を図っていききたい。</p> <p>②実務者会議について<br/>上記①にて抽出された地域課題については、実務者会議との連動を図る。地域ケアシステムの5つの要素に基づき、それらの課題に対して地域でできること、できないことを検討する。地域でできることについては、そのまま社会資源の開発につなげる。この部分は平成29年4月からの総合事業を視野に入れ、生活支援コーディネーターとの連携を図りながら展開する。地域では解決できない課題については、代表者会議を通じて政策への提言とし、この①と②の連動した取り組みにより吉野圏域における地域包括ケアシステム構築を推進していききたいと考える。</p> <p>③その他<br/>・地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みとして<br/>上記①②を繰り返し開催しながら、中長期的展望として吉野圏域における「場の統一」を目標として、各種専門職と地域住民との意見交換の場を設けたい。またこれまで、医療・介護の分野に特化した組織化を進めてきたが、今後の地域包括ケアシステム構築にかかる「共生社会」を見据えて、障害者施設を巻き込んで実施していききたい。この場の提供により、本当の意味での「顔の見える関係づくり」が構築されたいと考える。具体的な実施方法については、次年度開催する上記①②を通じて、お互いの見学から実施し、徐々に拡充させていききたいと考える。加えて、事業所職員内の資質向上を目的とした、各関係機関が主催する研修会・勉強会には、継続して参加するよう努めていくとともに、所内での勉強会や、当センターが主催する個別支援型地域ケア会議(事例検討会)への参加案内を行ない、日常業務のあらゆる場面を活用しながら全体の資質向上につなげていききたいと考える。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

## 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター桜島                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 事業所長氏名      | 永田 信行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 4,551      高齢人口： 2,045      高齢化率： 44.9%</p> <p>鹿児島市のシンボルの1つとされている桜島。海岸沿いの外周には公道が整備され、なだらかな斜面には集落が形成されている。集落の中にはいわゆる限界集落として位置づけられる地域もあり、空き家が多い。高齢者の一人暮らし世帯も多く、認知症高齢者、身寄りのない高齢者、孤独死の問題が増えてきている。また、桜島の大噴火に備えて住民の防災意識が高い。人口の減少に伴い、地域の産業は年々弱体化している。農作業に従事する元気な高齢者も多い。生まれながらにして桜島に住んでいる高齢者が多く、近所で助け合いながら生活している。商店はごく一部の地域にしかいないため、移動販売車が数多く出入りしている。医療福祉サービス等の社会資源も限られているため、利用者の選択の余地がない。</p>                                                                                                                                                                             |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域包括ケアシステム構築について<br/>平成28年度桜島圏域多職種連携会議において、圏域の介護保険関係者を集め、桜島における課題について事例を通じて地域の問題点などを検討し、関係各機関と緊密に連携がとれるようになった。平成28年度実務者会議では、支え手育成事業の西道交流会について実施状況、進捗状況を報告をし、平成29年度からの総合事業開始に向けて積極的に意見交換する事ができた。</p> <p>②介護予防の推進について<br/>お達者クラブや、サロンを通じて認知症予防講話その他、高齢者の健康講座を行う事により、介護予防の推進を図る事ができた。元気づくり事業については、訪問や電話で参加勧奨を積極的に行い特に訪問型個別支援事業で実績を上げることができた。</p> <p>③職員の資質向上について<br/>平成28年度は地域包括ケアシステム構築のための研修にも数多く参加した。また事業所内の勉強会でも各研修の報告伝達をはじめ個別事例の検討を行い、事業所内での情報の共有を図る事ができた。</p>                                                                                                        |
| 平成29年度総合的方針 | <p>①地域包括ケアシステム構築について<br/>平成29年度は総合事業開始に伴い、地域包括ケアシステム構築の更なる強化を目指す。具体的には、在宅介護・医療多職種連携会議において困難事例を通じて地域課題を抽出し、問題解決を図るべく圏域内の事業所との連携を強化していく。実務者会議において、桜島地区における高齢化が進んでいき、単身高齢者や、認知症高齢者が増加していく一方で、社会資源の減少、ボランティア等の高齢者を支える担い手が少なくなっていることがわかった。課題を踏まえ、関係各機関の協力の下、社会資源の発掘、見守りメイトを含めたボランティアの発掘に努めていく。</p> <p>②介護予防について<br/>予防の観点から、平成28年度に引き続き、地域のサロンやお達者クラブ、ふれあい会食に足を運び、認知症予防、健康講座等の講話を行う事で、介護予防の推進を図る。また、介護予防強化の観点から総合事業における運動型通所介護の利用の参加勧奨を行い、一人でも多くの対象者が事業参加できるように努める。</p> <p>③職員の資質向上について<br/>職員の資質向上のため、内外さまざまな研修に積極的に参加する。また事業所においては、毎月所内勉強会を開催し、事例を中心に、多くのケースに対応できるように研鑽する。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター吉田                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事業所長氏名      | 池田 加代子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 10,721      高齢人口： 3,357      高齢化率： 31.3%</p> <p>鹿児島市の中心部より、北へ15kmほどに位置する。高速道路インターがあり、北部は始良市に、東部は都市計画の進む吉野地区に隣接しているため通勤や通院・買物などの生活圏域が多岐に渡る。圏域内では病院や施設、商業施設のある本名地区が生活の中心地である。どの地域でも人口減少・高齢化率の上昇は続き、山間部に行くほどその傾向は強い。高齢者が生活するための、社会資源や移動手段の乏しさが最大の課題である。地域では、血縁者が近くに住み、お互いの情報交換や支援を受けやすい環境ではあるが、世代の交代とともに、昔ながらの農業中心の生活から、勤めに出る生活スタイルに変化してきている事で、地域との関わりは希薄になる傾向は否めない。しかし、校区社協や民児協等、地域福祉の核となる方々が、以前よりこの地域課題に取り組み、交流の場の設置や見守り活動を実施。今後の課題は、買物・通院、交流の場までの移動手段である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域包括ケアシステム構築のために、地域を細かいコミュニティに分けて、校区社会福祉協議会や自治会と情報交換を行った。自治会名簿を基に地域の資源や高齢者の交流の場の聞き取りを実施。各地区ごとの活動状況の特徴等を捉えることができた。</p> <p>②在宅医療・介護多職種連携は、吉田・郡山圏域で歯科医師を中心に、高齢者の口腔機能の問題について学習・グループワークを行った。サービス事業所や医療関係者が共通の意識を持ち、多職種の意見交換や交流の良い機会となり講評を得た。また、北部ブロックの多職種連携会議は、認知症初期集中支援と課題整理総括票について実施した。</p> <p>③認知症高齢者の対応は、地域の特徴として、まだ親は子が看るものとの考えや、お互いを昔から知っているために「病気の姿を他人に知られたくない」との考えが根強い。家族からの相談が少なく、重度化してから地域の問題として出てくる。早期治療の理解得られるよう情報発信し、初期集中支援チームの活用につなげていくことが今後も課題である。</p> <p>④地域包括支援ネットワーク実務者会議について、本年度のテーマであった、生活支援支え手育成モデル事業への参加者はなかったが、集いの場に代る既存のサロン活動などが多数あることが確認された。また、交流を望んでも、地域の集会所まで行けない高齢者の足の確保が一番の課題であることが確認できた。</p>                                                                                                                                                                                                        |
| 平成29年度総合的方針 | <p>①平成29年度は、総合事業が開始されるため、地域の高齢者が混乱せずに、社会資源やサービス利用が継続できるように、地域に向けての情報伝達や、個々の相談対応を行なう。当地域では、100名を超える生きがいデイサービス登録者が居られ、希望者が総合事業に移行する。事業所内で情報共有や役割・業務分担をし、混乱のないように進める必要がある。</p> <p>②『地域包括ケアシステムの構築』に向けて・・・吉田の地域では、各校区の社会福祉協議会やコミュニティ協議会、民児協が、地域の交流の場の活性化、見守り体制の強化等に力を注いでおり、それらの団体と、年3回の実務者会議等で、連携をしながら、地域の専門職としての役割を果たせるように努めたい。現在、吉田には、お達者クラブ5箇所、サロンが17箇所あるが、サロンに関しては平成28年度までに訪問していないところが多く、本年度は全てのサロンに訪問の機会を作ってもらえるように働きかけ、包括の紹介や、情報交換をしていきたい。</p> <p>③地域の高齢者を、切れ目なく、地域の多職種で連携して支援していくために、今後も、顔の見える関係作り、情報共有する場が必要である。居宅支援事業所やサービス事業所、各施設と、勉強会や情報共有のための地域ケア会議を開催する。勉強会は、昨年度同様、郡山との合同の会を予定している。</p> <p>④認知症高齢者を早期に相談につなげるように取り組む必要がある。高齢者の集いの場や、地域の福祉関係の会合に出向き、早期診断や早期治療の必要性について周知することや、認知症を疾患としてご理解いただけるような働きかけをしていく。また、認知症をご理解いただいた上で、地域での見守りを行なっていくためには、各地域で見守りメイトを養成し、活動を広める必要があることも併せて伝えていく。</p> <p>以上のことを、職員全員で協力し実施していく。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター郡山                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 事業所長氏名      | 田代 一郎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 7,483      高齢人口： 2,652      高齢化率： 35.4%</p> <p>ここ5年間の推移で見ると人口は毎年平均114人減少、高齢者は毎年平均60人増加、高齢化率は毎年平均1.2%ずつ上昇している。地理的に、圏域境周辺は山林や田畑で人口密度は殆ど無く、圏域の中心部に人口や社会資源が集中している。よって介護サービスは圏域内事業所の利用が多くを占め、圏域外の利用は低い。ただ訪問診療、訪問看護ステーション、救急病院、総合病院が無く、それらが必要になった場合、圏域外の機関を利用することになる。中心部から離れる程、過疎化、高齢化が進み、またそれらの住環境が公道から離れた傾斜地に立地していることが多く、車の運転ができない高齢者にとっては買い物、通院はもとより、公道までの外出（自治会活動）もままならないケースが増えつつある。また世帯形態としては独居、夫婦のみは多いが、支援を受ける高齢者で独身無職の息子と暮らしているケースが増えつつある。一方、畑の所有率は高く隣近所、顔見知り関係がまだ残っているが、自治会役割については消極的である</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①総合相談支援業務が多種多様化した内容で多くなったと感じた年度であった。ホームレス、劣悪な住環境、消費者被害、DV、家族の支援意識の低さ、認知症者の運転、精神障害等。それぞれ、不完全なケースもあるが、改善、解決できたことは良かった。また長年、継続していた課題ケースも1件、解決に至った。その他、今年度は周知活動、関係構築の一環として、1回のみであったが28自治会の回覧板250版分を活用して地域住民とより身近な関係構築を試みた。新たな活動としてコミュニティ協議会への会合参加も開始した</p> <p>②権利擁護業務では、司法書士、警察、生活保護課、消費生活支援センターに連携を依頼するケースの数が昨年度と比べ増加し、協働により早い改善、解決ができた</p> <p>③包括的継続的ケアマネジメント業務においては、圏域のケアマネからの相談が増え、困難ケースの解決にも至り、包括存在意義の向上となった。また、同業同士での研鑽機会、個別課題解決型の地域ケア会議への土台として、ケアマネ同士の定期的な勉強会を立上げ継続した。郡山と同じく事業所数が少ない隣接圏域である包括吉田との合同で立上げて効果的に機能した。多職種連携会議も吉田と合同で実施。課題として勉強会の質向上の検討が必要である。</p> <p>④認知症初期集中支援事業は申請に至らず改善するケースが数件あり。認知症見守りメイトの増加対策を行い増加。郡山にて認知症サポーター養成講座の講師活動をした。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 平成29年度総合的方針 | <p>平成29年度は総合事業が開始されることもあり、更なる「地域包括ケアシステム」の構築を目標とし以下の取り組みを実施していく</p> <p>①「地域包括ケアシステム」の構築における今後、最も発展していかなければならないのが「生活支援・介護予防」である。郡山の住民組織の機能的存在として郡山地域校区社協の存在がある。そしてそれに対して最も強力な協働機関として郡山民児協がある。その2団体と包括との関係構築、そして共通の地域課題に対しては既に共有化が図れているが、新たに立ち上がった3つのコミュニティ協議会、そして28ある自治会にはまだ、今後の地域課題が浸透していないのが現状である。それは必然的に包括支援センターの周知度も比例している状態である。また老人クラブ(22ヶ所)、ふれあい会食(12ヶ所)との包括との関係が皆無に近い状態。コミュニティ協議会、自治会、老人クラブ、ふれあい会食、各団体へ出向く機会を作り、包括の周知と地域課題の啓蒙を図り、住民主体支援の意識向上に努める。更に郡山地域には自治公民館等、57ヶ所の集会施設がある。殆どが有効に活用されていない現状。地域サロンの立上げ等、鹿児島市役所郡山支所の保健福祉課と連携を図りながら、介護予防に資する公民館活用に向けた取り組みを行なっていく。</p> <p>②包括吉田と合同で行ってきた地域ケアマネ同士の勉強会(事例検討会)を継続はもちろん、会のそのものの更なる質向上となる勉強会になるよう検討する。そしてそこから出た事例が個別支援型地域ケア会議の開催に結びつくよう努めていく。そして更にそこから出た課題にて吉田・郡山合同での多職種連携会議への開催を目指していく</p> <p>③郡山地域校区社協が主体的に取り組んでいる「支え合いマップ」の作成支援に参加して住民主体の支援の促進を図る</p> <p>④自治会が主体的に行なっている「見守りネットワーク」での情報の共有化を図り、それを認知症見守りメイト活動への有効展開、そして包括による「見守りネットワーク」への後方支援関係の構築を図る</p> <p>⑤見守りメイト事業を地域展開していく為には見守りメイト数の増加が必要。見守り活動の地域展開と見守りメイトの増加を同時並行で図っていく</p> <p>⑥包括郡山主催での認知症サポーター養成講座を開催する</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター松元                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事業所長氏名      | 高橋 優子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 16,137      高齢人口： 3,452      高齢化率： 21.4%</p> <p>鹿児島市西部に位置し、9町からなる。高齢化率は松陽台町2.8%に対し平田町61.8%と圏域内格差が大きい。社会資源についてもスーパー等が立ち並び利便性の良い地域と、医療機関やスーパーもない地域と格差が大きい。介護保険に関する事業所は圏域内に点在するが、横のつながりが弱い。圏域全体を通し、住民同士のつながりが希薄化しつつあることに加え、日常生活支援の支え手と成りうるNPO法人やボランティア団体なども存在せず、地域包括ケアシステムの構築のための担い手の不足が大きな課題である。地域包括ケアシステムの構築へ向け圏域内優先課題である「見守り体制の構築」について鹿児島市支え手育成モデル事業を通し見守りの場（寄り合う場）の創設に取り組むも、「集まりたいけどまとめ役やリーダーは絶対したくない」という住民が多いという新たな課題も出てきている。「お互いが支えあう」という見守り体制の構築では基礎となる住民意識がまだまだ低いという現状がある。</p>                                                                                                                                                                                                                        |
| 平成28年度総合的評価 | <p>「地域包括ケアシステムの構築」という重点取組方針に基づき、圏域内の介護保険サービス事業所、医療機関、薬局等がお互いに情報交換、共有を行い連携強化につながる機会につながった。権利擁護や虐待に関する相談が依然として少なく、相談ケースが潜在している可能性もあり、今後は事業所のみならず、地域への啓発活動も強化していく必要がある。</p> <p>①圏域内の居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、有料老人ホーム等の職員と事例を通し医療系サービスについて勉強会を行うことができた。</p> <p>②生活支援支え手育成モデル事業を通し、「通いの場」を立ち上げることができた。</p> <p>③「元気づくり高齢者」「介護予防」についてお達者クラブや老人クラブ、サロン、成人学級や公民館講座にて啓発し続けたことで、前年と比較し参加率が向上した。</p> <p>④民生委員、居宅介護支援事業所、交番、サービス事業所等含めた個別支援型地域ケア会議を開催し、該当地区の課題抽出等も行えた。課題解決への連携も強化された。</p> <p>⑤認知症については「サポーター養成講座」の啓発を民生委員児童委員協議会の定例会等で啓発することで民生委員が所属する公民館からの依頼も増えた。</p> <p>⑥定期的な所内勉強会、外部研修に参加し、ケアマネジメント力・相談対応能力の向上につなげることができた。</p>                                                                                                  |
| 平成29年度総合的方針 | <p>平成29年度も「地域包括ケアシステム」の構築に向け、圏域内でのネットワーク構築や平成27年度、平成28年度に抽出された課題をもとに各関係機関と連携した取組みを実施していく。</p> <p>①圏域内優先課題である「見守り体制の構築」を目指すため、まずは地域住民の「お互いが支えあう」意識が向上していけるよう各町内会、公民館単位での研修等を松元支所、校区社協、民児協とも連携し、企画していく。また、各校区のリーダー役の意識向上を図るべく、研修等の実施も各関係機関と連携、検討していく。</p> <p>②圏域内の介護保険サービス事業所の交流会は平成27年度、平成28年度と実施できたが、横のつながりが依然弱い。横のつながり、連携強化を図るべく、介護支援専門員、介護保険サービス事業所職員の交流や情報共有、事例検討会、各種勉強会を圏域内関係機関と運営していけるよう後方支援していく。</p> <p>③認知症について正しい理解を促すため、引き続き公民館や圏域内各種団体等へ認知症サポーター養成講座や認知症等見守りメイト等の普及について啓発していく。</p> <p>④高齢者虐待や成年後見制度等についての相談件数は徐々に増加している。地域の中に潜在しているケースがある可能性もあり、事業所や関係機関のみならず地域への啓発も進めていく。</p> <p>⑤地域の高齢者を支える中で、生活困窮や同居する障害を持った家族の相談など多問題を抱えていることも少なくない。高齢者に関係する機関のみならず、地域の様々な機関と連携し地域を支えていける体制づくりが協働して行えるように働きかけていく。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター喜入                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 事業所長氏名      | 鮫島 さとみ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 11,598      高齢人口： 3,937      高齢化率： 33, 9%</p> <p>1)圏域内の総人口が5年間で約850人減少し、高齢化率が29%から33, 9%に上昇し、後期高齢者割合が桜島・西伊敷圏域に続いて3番目に高い。年々この傾向が進展していくことで、介護を必要とする高齢者の増加と地域役員や見守り支援する担い手不足が懸念されている。一方で今まで身近に集いの場がなかった4つの地域で自発的にサロンの集まりの場が立ち上がっている。</p> <p>2)地域住民は、顔なじみで隣人に惣菜を差し入れする等共助の関係性が見られ、支援を受けやすい環境にはあるが、若い世代は勤めに出る生活スタイルで地域との交流は希薄になる傾向であるため、認知症高齢者や虚弱高齢者の支援・見守り体制の強化が重要である。</p> <p>3)圏域内の徒歩で行ける小さな商店は激減している。交通手段のあいばすやJRは本数が少なく、車を運転できなくなると買い物や通院等の外出に困る現状がある。自宅での生活が継続できるよう、移動手段の確保・食の確保、日常支援体制づくり等を住民のニーズに合うようにしていくことが課題である。</p>                                                                                                                                                                                                                             |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①生活支援サービスの充実・強化:生活支援コーディネーターを中心に生活支援支え手育成モデル事業を活用して地域で支える体制づくりの推進に努め、野元きずな会が支え手育成モデル事業に参加して頂くことができた。地域包括支援ネットワーク実務者(3回)を実施し、地域課題の3つをそれぞれ分析して地域のコミュニティバスや買い物・移動販売等について、地域で高齢者が活用しやすい社会資源のあり方について、検討することができた。</p> <p>②在宅医療・介護連携の推進:南部地域の5つの事業所と共同で開催し、多職種による連携のあり方についてよりよい連携を目指して、会議を進めることができた。また、「きいれ包括ネットワーク」の活動も2年目となり、喜入の医療・介護事業所の関係者の交流や研修の場を通じて職種や事業所を越えて、地域包括ケアを推進していく源となるよう事務局としての役割りを果たしている。</p> <p>③認知症施策の推進:認知症初期集中支援事業では、2件の事例はチーム員会議までは至らなかったが、認知症疾患医療センターと連携し緊急的に措置入院へ、またある事例では、独り暮らしの高齢者を支える地域住民との連携の大切さを実感した。</p> <p>④地域ケア会議の推進:5月に地域の居宅介護支援事業所と事例検討会や個別支援型地域ケア会議を3件実施し、地域の医療・介護関係機関と連携して、解決に向けた具体策について検討することができた。</p>                                                                                                                        |
| 平成29年度総合的方針 | <p>①地域包括ケアシステムの推進:実務者会議では、地域のコミュニティ協議会の方々をはじめとする委員と喜入圏域が目指す地域の未来像や地域課題について、交通手段としてのあいばすの利用者側のニーズ調査の実施し、地域課題と生活支援サービスがマッチングし高齢者が活用しやすい社会資源につなげられるよう校区コミュニティ協議会等と連携していく。</p> <p>②在宅医療・介護連携の推進:圏域内の事業所と連携して、事例検討会を実施して、在宅医療・介護事業所が相互の連携力を高めながら、地域の認知症ケア等多職種協働が推進されるよう喜入圏域多職種連携会議を開催する。</p> <p>③認知症施策の推進:高齢者だけでなく、若い世代にも認知症の理解が進むよう広報活動を行う。また、必要なケースを認知症初期集中支援チームにつなぎ支援の方向づけができ、早期支援ができるように働きかけていく。認知症見守りメイト活動については、認知症等見守りメイト連絡会を通じて、活動情報を広報するとともに必要な方へのマッチングを支援して、メイト活動の促進を図っていく。</p> <p>④地域ケア会議の推進:平成29年度から総合事業の導入が円滑に進むように地域の民生委員や居宅介護支援事業所に対して、地域ケア会議を通じ鹿児島市の総合事業の具体的な内容について伝達を行なう。また、多問題事例等、1事業所だけで解決できない事例等、個別支援型地域ケア会議を随時実施する。</p> <p>⑤生活支援サービスの充実・強化:介護予防支援対象者に対して、予防の視点を盛り込んだプラン作成と総合事業移行へ向けて、適切な説明・対応が行えるように研修会への参加等自己研鑽するとともに事業所内での伝達、ミーティングを開催する。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター谷山南                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 事業所長氏名      | 石川 真紀                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 45,534      高齢人口： 11,050      高齢化率： 24.3%</p> <p>市南部に位置し、谷山支所周辺に病院や店が集まっている。そこから少しずつ離れていく平野部・丘陵部・山間部・海岸部と、広大な圏域である。施設、大学、専門学校、動物園、市民体育館、公園など大きな施設や障害者施設も多い。総人口は減っているが高齢化率は増加している。高齢になることで、坂道や移動距離、手段の問題が大きくなる。昔から交通の便が不便であった錫山地区などは相乗りタクシーなどもあるが、それ以外の地では限られたバス路線の為バス停まで行けずに外出困難となっている状況がある。また、同居世帯員の中に精神疾患のある子供と高齢の親の世帯、認知介護となっている世帯も増加している。買物、交通の不便さや他者との交流の課題は共通課題。場所によっては、自助・互助の意識の高い地域もあるが、逆に意識の低い地域もある。今後も住みやすい地域づくりの活動が必要である。</p>                                                                                                                                                                                                                           |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①医療と介護の連携/実務者会議 多職種連携会議は南部ブロックと圏域内での開催を行ないブロック会議では、社会資源についての再認識を共有できた。圏域では、通所事業所と訪問介護事業所と薬剤師の参加も多く、事例を元にそれぞれの職種で何ができて、どういう連携ができるかの見える化を行った。ブロックとは別の形でのネットワーク構築が図れ今後の連携につながる会議ができたと思う。</p> <p>②相談業務 年度後半よりは、権利擁護…虐待や成年後見制度の相談が相次いだ。職員の経験年数が少なく、立ち止まる事も多々ありながらも3職種で情報共有を行いながら、ケースに対して複数の職員で検討する場を持った。認知症初期集中支援事業への対象者を目標数値に近づかせる事ができなかった。これについてはチームアプローチやタイミングに問題があると考え、改善に取り組んでいきたい。</p> <p>③ケアマネジャーとの事例検討会&amp;連絡会 年4回の開催の継続ができています。個別ケースについて他の視点や後方支援、地域課題に繋がる発見など、参加者の知識や技術力の向上となる場を促進していく。また、地域の社会資源も情報共有をしていく。</p> <p>④その他 支え手育成モデル事業や認知症等見守りメイト事業についても担当職員を中心に周知と活用が図ることができた。今後も地域包括ケアシステム実現の向けて地域の支えに重要な役割を担うと考え、他事業も含め今後も地域への周知を図る必要がある。</p>                      |
| 平成29年度総合的方針 | <p>H29.4月から開始される総合事業であるが、地域での地域包括ケアシステムの構築は取り組みはまだまだ足りていない。引き続き、地域の関係機関との連携を図り地域包括ケアシステムの構築にむけた取り組みをしていく。</p> <p>①地域づくり・多職種連携<br/>把握できていない地域の住民力の情報収集を図り、地域住民の自助と互助の力を高めたいけるようにする。その為に保健師を中心に地区診断を行い、三職種の専門性を生かし地域課題の把握と資源開発に努める。また、ブロック長を中心に南部地域の情報共有、連携を図り多職種連携の力の向上できるように取り組む。地域や多職種連携についても先進的な取り組みをしている人や事業所から学び、それを他の場所にも展開できるように繋げる役目をしていく。</p> <p>②認知症施策の推進<br/>認知症等見守りメイト事業、認知症サポーター養成講座、認知症初期集中支援事業について、地域住民や事業所、各団体へ広報周知と日々の相談業務の中でも必要と思われる対象者へ早い段階で提案し、早期対応と本人が住みなれた地域で生活していけるように施策の活用ができるようにしていく。</p> <p>③事業所の機能向上<br/>総合事業の開始に伴い、事業所内の全員が早急に総合事業についての理解を深める必要がある。また、それぞれが研修等への参加をしながらスキルアップを図り、専門知識や援助技術の向上に努める。多問題世帯に対しては、所内での情報共有し、3職種でのチームアプローチをして取り組む。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名        | 鹿児島市地域包括支援センター 西伊敷                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事業所長氏名      | 前田 真帆子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 圏域の特色・課題    | <p>※ 人口： 29,290      高齢人口： 10,297      高齢化率： 35.2%</p> <p>西伊敷圏域は、団地や山間部において急速に高齢化が進んでいる。今後も上昇傾向が考えられることから、相談対応が減少することではなく増加していくと考えられる。</p> <p>国道3号線沿いや団地内には、医療機関、商店があるが、山間部の地域には存在しないため、医療機関への受診や食事の確保を含めた日常生活に必要な買い物等が困難な状況にある。そのための社会資源の開発が望まれるが開発に至っていない状況である。</p> <p>西伊敷圏域は地域性の違いが大きい圏域のため、それぞれの地域の互助体制を把握し地域力が向上するために地域へのアプローチを行っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 平成28年度総合的評価 | <p>①地域住民、民生委員、居宅介護支援事業所、医療機関からの相談件数が多く、また、介護予防サービス利用者、元気づくり高齢者も増加傾向にあったことから、全職員で対応にあたった。</p> <p>②お達者クラブ、老人クラブにも参加し、今年度は、認知症予防、介護予防に重点をおき、参加住民と一緒に取り組み好評で、地域包括の広報活動も行った。</p> <p>③地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域ケア会議を開催することで、具体的な連携や活動につながった。医療と介護の多職種連携会議では、圏域内の会議やブロック別会議では、「認知症初期集中支援チーム」「ケアマネジャーの研修体系」について多くの方々と学ぶ事ができた。ネットワーク構築型地域ケア会議では、圏域の全民生委員と意見交換、地域づくりについて検討することで連携強化につながった。個別支援型地域ケア会議では困難事例について関係者間で検討する事で、ケアマネジャーや関係機関の後方支援等行うことができた。</p> <p>特に、地域包括支援ネットワーク実務者会議では、地域の課題抽出から、地域の高齢者支援、そして地域づくりについて意見交換した。会議を受けて、職員が西伊敷1～3丁目で地域内にあるサービス事業所と意見交換会を計画し実行できた。また、3回目は地域づくりの成功事例を地域住民の代表の方に講話していただいた事で、参加者のモチベーションが高まったので、このような積極的な地域力アップをめざしたアプローチを次年度にもつなげていく。</p> <p>④2年目に入った認知症初期集中支援チームは、サブチーム員の配置もあり、北部地区各包括事業所と連携を図りながら活動できた。</p>                                 |
| 平成29年度総合的方針 | <p>1. 地域包括ケアシステムの構築の推進に向けて、地域ケア会議内容を活用充実させる。</p> <p>①医療と介護の多職種連携会議は、北部ブロック各事業所で開催内容等については検討していく。</p> <p>②ネットワーク構築型地域ケア会議は、地域民生委員、居宅、サービス提供事業所等関係機関と地域課題について、検討しつつ連携を深めていく。</p> <p>③個別支援型地域ケア会議は、随時対応していくが、認知症が背景にある困難事例等が増えてきているため、認知症への理解を共有しつつ、ケアマネジャーの後方支援や地域住民への支援を継続していく。</p> <p>④地域包括支援ネットワーク実務者会議で、抽出した地域課題を精査しつつ、「高齢者になっても住みたい、住み続けたい、まちづくり」という共通言語を共有しながら、地域へのアプローチを継続し、互助の体制づくりに努力する。</p> <p>2. 認知症初期集中支援チームの活動は、早期診断、早期対応に向けた支援体制づくりを継続して行い、積極的に活動展開していく。</p> <p>3. 地域住民の集まりのお達者クラブ、老人クラブ等の会合に積極的に出向き、地域の方との関わりを深め、地域の拠点であると意識を全職員がもち、全職員でひとつひとつ丁寧に業務に取り組むことで、地域に信頼される事業所をめざす。</p> <p>4.今年度設立する西伊敷地区コミュニティ協議会との連携も増えると考えられるので、連携することで地域の中の状況把握につとめる。</p> <p>5. 地域に信頼され、地域の拠点として活動するためには、全職員の質の向上が問われる。このことから、今後も内外の研修参加、参加後の研修内容を全職員で共有し、職員資質研鑽を勧めていく。</p> |

※人口等は平成28年10月1日現在

# 平成29年度 鹿児島市地域包括支援センター 事業計画

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名           | <b>認知症関連委託事業</b><br>（認知症地域支援推進員等設置事業・認知症サポーター養成講座業務<br>認知症介護教室業務・認知症初期集中支援推進事業<br>認知症等見守りメイト活動等に関する業務）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 認知症地域支援推進員 氏名 | 前田 英子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 圏域の特色・課題      | ※ 人口： 604,269      高齢人口： 151,065      高齢化率： 25.0%<br>鹿児島市は、海沿い、山間部、都市部と地域性豊かな町である。昨年より総人口は減少しているが、高齢者人口は増加し、高齢化率も高くなっている。<br>市内17事業所では、認知症に起因した困難ケースの相談が増え、対応に苦慮している状況が見られ、個別支援型地域ケア会議を開催し、関係機関と連携、情報共有して支援している。<br>医療面では、認知症疾患医療センター2ヶ所（谷山病院・パールランド病院）があるうえに認知症サポート医は年々増加傾向である。地域で認知症について相談できる医療機関が増えてきている状況である。<br>市内全域で、認知症者への対応については、地域の課題としてとらえられており、認知症者が地域での生活を維持するためには、地域住民に正しい病気の理解と協力を得られるような活動が必要と思われる。                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 平成28年度総合的評価   | ①認知症初期集中支援チームの円滑な活動を目的に各事業所職員に伝達研修を実施してサブチーム員を配置した。また、専門医11名にチーム員会議への協力が得られた。支援対象者は35名と昨年度よりは上回ったがまだ少ない状況で、今後も各包括事業所と連携を取り、初期の認知症者への支援のための体制作りを進めていく必要がある。<br>②認知症相談会は認知症カフェでの実施により、認知症の周知につながった。<br>③認知症講演会は、認知症ケアパスの普及を目的に実施し、活用を促すことができた。<br>④今年度から認知症サポーター養成講座業務の事務局となり、キャラバン・メイトとの連携により、多くの認知症サポーター養成講座が円滑に実施できた。今年度は子供向け認知症サポーター養成講座を初めて実施し、多くの小学生の参加があり、子供向けの認知症サポーター養成講座継続の必要性を感じた。<br>⑤認知症等見守りメイトに関する業務においては、養成講座の周知に努め、累計484名の見守りメイトが誕生した。今後は見守りメイト利用の広報周知が課題である。<br>今年度は、それぞれの事業がうまくつながらなかったため、今後は各事業をつないで認知症者やその家族を支援できるような地域づくりに努めたい。                                                                                                                             |
| 平成29年度総合的方針   | 地域住民が認知症の正しい理解と協力が得られるような働きかけをすることで、認知症になっても住み慣れた地域の中で暮らし続けられる地域づくりを目指す。<br>①認知症講演会により認知症の正しい理解を促し、職員による相談会を同時に開催することで、地域住民が安心安全な生活につながるよう努める。<br>②認知症ケア向上を目的とした介護施設向けの事例検討会は、嘱託医の協力を得ながら、グループホームを対象に実施し、介護職員のケアの質の向上に努めるとともに、入所者の生活の質の向上を目指す。<br>③認知症サポーター養成講座業務を通して、地域住民へ認知症の正しい知識の普及を図る。また、講師役のキャラバン・メイト連絡会研修会により、キャラバン・メイトの活動の意欲向上を図り、円滑な認知症サポーター養成講座の実施に努める。今年度は子供向け認知症サポーター養成講座の広報にも努めていく。<br>④認知症等見守りメイト活動では、認知症等見守りメイト連絡会を各事業所毎に実施することで、メイト同士の連携を図る。さらに見守りメイトの養成を図り、各事業所を通して、メイト活動の利用促進に努めることで見守りのある地域づくりを目指す。<br>⑤認知症初期集中支援推進事業では、各包括事業所における認知症者に関する相談対応力を高める。また、認知症初期集中支援チームの活動に結びつけるような体制作りにも努め、認知症者及びその家族への支援を図る。<br>⑥認知症介護教室では、介護者の負担軽減を図り、認知症者の安心につながる環境づくりに努める。 |

※人口等は平成28年10月1日現在